

N5 基礎

N5 基礎

Истории
под сакурой

НА ЯПОНСКОМ

**ЧИТАЕМ
С УДОВОЛЬСТВИЕМ
И ПОВЫШАЕМ
УРОВЕНЬ**

 **БОМБОРА**
ИЗДАТЕЛЬСТВО
Москва

УДК 811.521(075)

ББК 81.2Япо-9

П14

Пальшина, Екатерина Владимировна.

П14 Истории под сакурой на японском. Читаем с удовольствием и повышаем уровень. N5 / Екатерина Пальшина. — Москва : Эксмо, 2026. — 192 с. — (Читаем на иностранном. Лучший способ выучить язык).

ISBN 978-5-04-244025-0

Перед вами сборник коротких историй для чтения на японском языке, который поможет мягко и без стресса сделать первые шаги к пониманию текста. В книгу вошли истории с безмятежной атмосферой, которые приятно читать и к которым хочется возвращаться.

Тексты адаптированы для уровня N5 и позволяют постепенно привыкнуть к структуре языка и базовой лексике. Каждая история сопровождается рубрикой с полезными словами и выражениями, а также упражнениями на понимание прочитанного.

В конце книги приведены переводы всех историй, чтобы вы могли проверить себя и убедиться в правильности понимания текстов.

Сборник подойдет для самостоятельного чтения и станет удобным и вдохновляющим инструментом для изучения японского языка.

УДК 811.521(075)

ББК 81.2Япо-9

© Пальшина Е., иллюстрации, 2026

© Оформление. ООО «Издательство
«Эксмо», 2026

ISBN 978-5-04-244025-0

Содержание

От автора	7
1. 朝日の窓辺 (あさひのまどべ).....	9
2. 公園のベンチ友達 (こうえんのべんちともだち)	13
3. 小さな花屋さん (ちいさなはなやさん)	19
4. 喫茶店の思い出 (きっさてんのおもいで).....	23
5. 雨の日のお茶 (あめのひのおちゃ).....	29
6. 図書館の暖かい場所 (としょかんのあたたかいばしょ) ...	35
7. 駅前の甘い匂い (えきまえのあまいにおい)	41
8. 古い写真アルバム (ふるいしゃしんあるばむ).....	47
9. 手編みのマフラー (てあみのまふらー).....	53
10. 夕焼けの散歩 (ゆうやけのさんぽ).....	61
11. おばあちゃんの味 (おばあちゃんのおい).....	67
12. カフェの窓際席 (かふえのまどぎわせき).....	73
13. 古本の葉 (ふるほんのしおり).....	79
14. 公園の猫さん (こうえんのねこさん).....	85
15. 手紙の温もり (てがみのぬくもり).....	91
16. 小さなケーキ屋 (ちいさなけーきや)	97
17. 喫茶店のマスター (きっさてんのますたー).....	103
18. 雨宿りの出会い (あまやどりのであい).....	109
19. 図書館のやさしい人 (としょかんのやさしいひと)	115
20. 駅の夜明け (えきのよあけ).....	121
21. おじいちゃんの畑 (おじいちゃんのはたけ).....	127
22. コインランドリーの隣人 (こいんらんどりーのりんじん)..	133
23. 小さな贈り物 (ちいさなおくりもの)	141
24. パン屋の朝 (ぱんやのあさ).....	147
25. 古時計の音 (ふるときいのおと).....	153
26. カフェの読書時間 (かふえのどくしょじかん)	159
27. 散歩道の挨拶 (さんぽみちのあいさつ).....	165
28. お茶の時間の友達 (おちゃのじかんのともだち).....	171
29. 古い街並み (ふるいまちなみ)	177
30. 星を見る夜 (ほしをみるよる)	183

От автора

Дорогие читатели, добро пожаловать в тихий и созерцательный мир японских историй, которые созданы для того, чтобы вы могли наслаждаться мгновениями душевного спокойствия, одновременно изучая язык.

Каждая история описывает маленькие радости повседневной жизни, теплые встречи с людьми и безмятежные японские пейзажи. В текстах использованы простые слова и грамматические конструкции, чтобы вы могли читать с легкостью и без напряжения.

Расслабьтесь, позвольте плечам опуститься и начните чтение с чувством умиротворения. Наслаждайтесь мягким звучанием японского языка и историями, которые согревают душу.



ストーリー 1

朝日の窓辺 (あさひのまどべ)

ゆみさんは毎朝早く起きます。6時です。彼女は窓を開けます。外は静かです。鳥が鳴いています。

ゆみさんはお湯を沸かします。コーヒーのいい匂いがします。彼女は窓辺の椅子に座ります。温かいコーヒーカップを手に持ちます。

窓の外を見ます。朝日がだんだん明るくなります。空がオレンジ色から青くなります。近所の猫が伸びをしています。

「今日もいい日になりますように」と、ゆみさんは思います。コーヒーを一口飲みます。温かくて、少し苦いです。

朝の静かな時間が好きです。誰もいません。自分の時間です。本を読むこともあります。音楽を聞くこともあります。時々、何もしません。

7時になりました。外で車の音がします。町が起きました。ゆみさんは微笑みます。温かい気持ちで、一日が始まります。

ゆみさんは毎朝(まいあさ)早(はや)く起(お)きます。6時(じ)です。彼女(かのじょ)は窓(まど)を開(あ)けます。外(そと)は静(しず)かです。鳥(とり)が鳴(な)いています。

ゆみさんはお湯(ゆ)を沸(わ)かします。コーヒーのいい匂(にお)いがします。彼女(かのじょ)は窓辺(まどべ)の椅子(いす)に座(す)わります。温(あたた)かいコーヒーカップを手(て)に持(も)ちます。

窓(まど)の外(そと)を見(み)ます。朝日(あさひ)がだんだん明(あか)るくなります。空(そら)がオレンジ色(いろ)から青(あお)くなります。近所(きんじょ)の猫(ねこ)が伸(の)びをしています。

「今日(きょう)もいい日(ひ)になりますように」と、ゆみさんは思(おも)います。コーヒーを一口(ひとくち)飲(の)みます。温(あたた)かくて、少(すこ)し苦(にが)いです。

朝(あさ)の静(しず)かな時間(じかん)が好(す)きです。誰(だれ)もいません。自分(じぶん)の時間(じかん)です。本(ほん)を読(よ)むこともあります。音楽(おんがく)を聞(き)くこともあります。時々(ときどき)、何(なに)もしません。

7時(じ)になりました。外(そと)で車(くるま)の音(おと)がします。町(まち)が起(お)きました。ゆみさんは微笑(ほほえ)みます。温(あたた)かい気持(きもち)で、一日(いちにち)が始(はじ)まります。

ПОЛЕЗНЫЕ СЛОВА И ВЫРАЖЕНИЯ

- ▶ 窓辺 (まどべ) — у окна
- ▶ お湯を沸かす (おゆをわかす) — кипятить воду
- ▶ だんだん (だんだん) — постепенно
- ▶ 伸びをする (のびをする) — потягиваться
- ▶ 微笑む (ほほえむ) — улыбаться

УПРАЖНЕНИЯ:

1 Прочитайте утверждения и напишите: Верно (○) или неверно (X):

1. ゆみさんは毎晩早く起きます。 _____
2. 彼女は紅茶を飲みます。 _____
3. 外で犬が鳴いています。 _____
4. ゆみさんは朝の時間が好きです。 _____

2 Заполните пропуски:

1. ゆみさんは毎朝 _____ 起きます。
2. コーヒーのいい _____ がします。
3. 朝日がだんだん _____ なります。
4. 「今日もいい日になります _____」
5. 温かい _____ で、一日が始まります。

3 Ответьте на вопросы:

1. ゆみさんは何時に起きますか？ _____
2. 彼女は何を飲みますか？ _____
3. 窓の外で何を見ましたか？ _____
4. ゆみさんは朝の時間で何をしますか？ _____



ストーリー 2 公園のベンチ友達 (こうえんのベンチともだち)

たかしさんは毎朝、近所の公園に行きます。同じベンチに座ります。毎朝、同じおじいさんがいます。おじいさんの名前は鈴木さんです。

「おはようございます」と、たかしさんは言います。
「おはよう、たかし君」と、鈴木さんは言います。

二人は話しません。ただ、一緒に座ります。鈴木さんは新聞を読みます。たかしさんは空を見ます。時々、鳥にパンくずをあげます。

ある朝、雨が降りました。たかしさんは「今日は鈴木さんに会えませんね」と思いました。でも、公園に行くと、鈴木さんがいました。鈴木さんは大きな傘を持っていました。

「おはよう。傘、一緒に入りなさい」と鈴木さんは言いました。
「ありがとうございます」とたかしさんは言いました。

傘の下で、二人は座りました。雨の音が優しく聞こえます。たかしさんは温かい気持ちになりました。

次の日、たかしさんは鈴木さんに小さなお菓子を持ってきました。鈴木さんは嬉しそうな笑顔を見せました。

言葉は少ないですが、心温まる友情です。

たかしさんは毎朝(まいあさ)、近所(きんじょ)の公園(こうえん)に行(い)きます。同(おな)じベンチに座(すわ)ります。毎朝(まいあさ)、同(おな)じおじいさんがいます。おじいさんの名前(なまえ)は鈴木(すずき)さんです。

「おはようございます」と、たかしさんは言(い)います。
「おはよう、たかし君(くん)」と、鈴木(すずき)さんは言(い)います。

二人(ふたり)は話(はな)しません。ただ、一緒(いっしょ)に座(すわ)ります。鈴木(すずき)さんは新聞(しんぶん)を読(よ)みます。たかしさんは空(そら)を見(み)ます。時々(ときどき)、鳥(とり)にパンくずをあげます。

ある朝(あさ)、雨(あめ)が降(ふ)りました。たかしさんは「今日(きょう)は鈴木(すずき)さんに会(あ)えませんでした」と思(おも)いました。でも、公園(こうえん)に行(い)くと、鈴木(すずき)さんがいました。鈴木(すずき)さんは大(おお)きな傘(かさ)を持(も)っていました。

「おはよう。傘(かさ)、一緒(いっしょ)に入(はい)りなさい」と鈴木(すずき)さんは言(い)いました。
「ありがとうございます」とたかしさんは言(い)いました。

傘(かさ)の下(した)で、二人(ふたり)は座(すわ)りました。雨(あめ)の音(おと)が優(やさ)しく聞(き)こえます。たかしさんは温(あたた)かい気持(きもち)になりました。

次(つぎ)の日(ひ)、たかしさんは鈴木(すずき)さんに小(ちい)さなお菓子(かし)を持(も)ってきました。鈴木(すずき)さんは嬉(うれ)しそうな笑顔(えがお)を見(み)せました。

言葉(ことば)は少(すく)ないですが、心温(こころあたた)まる
友情(ゆうじょう)です。

ПОЛЕЗНЫЕ СЛОВА И ВЫРАЖЕНИЯ

- ▶ ベンチ友達(べんちともだち) — друг по скамейке
- ▶ パンくず(ぱんくず) — хлебные крошки
- ▶ 傘の下(かさのした) — под зонтом
- ▶ 嬉しそう(うれしそう) — радостный
- ▶ 心温まる(こころあたたまる) — согревать / согревающий сердце

УПРАЖНЕНИЯ:

1 Прочитайте утверждения и напишите: Верно (○) или неверно (X):

1. たかしさんは毎晩公園に行きます。_____
2. 鈴木さんはおばあさんです。_____
3. 雨の日も二人は会いました。_____
4. たかしさんは鈴木さんに花をあげました。_____

2 Заполните пропуски:

1. たかしさんは毎朝、近所の_____に行きます。
2. 鈴木さんは_____を読みます。
3. 「傘、一緒に_____なさい」
4. 雨の音が_____聞こえます。
5. 言葉は少ないですが、心温まる_____です。

3

Ответьте на вопросы:

1. たかしさんと鈴木さんはどこで会いますか？

2. 雨の日、鈴木さんは何を持っていましたか？

3. たかしさんは鈴木さんに何を持ってきましたか？

4. 二人の友情についてどう思いますか？



ストーリー 3 小さな花屋さん (ちいさな はなやさん)

まいさんは毎日、小さな花屋の前を通ります。店長のおじいさんはいつも笑顔です。ある日、まいさんは店の前で立ち止まりました。

「こんにちは。きれいな花ですね」とまいさんが言いました。

おじいさんは嬉しそうに「ありがとう。これ、どうぞ」と言っ
て、一本の小さなダリアの花をくれました。

次の日も、まいさんは花屋の前を通りました。おじいさんは
また「こんにちは」と笑顔で言いました。今日は小さなユリ
の花をくれました。

まいさんは家に花瓶を買いました。毎日、おじいさんにもら
った花を生けました。部屋が明るくなりました。花屋は優し
さの場所になりました。

まいさんは毎日(まいにち)、小(ちい)さな花屋(はなや)の前(ま
え)を通(とお)ります。店長(てんちょう)のおじいさんはい
つも笑顔(えがお)です。ある日(ひ)、まいさんは店(みせ)の前
(まえ)で立(た)ち止(と)まりました。

「こんにちは。きれいな花(はな)ですね」とまいさんが言(い)
いました。

おじいさんは嬉(うれ)しそうに「ありがとう。これ、どう
ぞ」と言(い)って、一(いち)本(ぼん)の小(ちい)さなダリアの
花(はな)をくれました。